

— 芝浦工業大学 —

2月21日(金) 後期日程 英語

解答・解説

I

1. b. 2. d. 3. a. 4. b. 5. b.

1. A の「来週の職場への来訪の誘い」に対するセリフ「構いませんよ、次の水曜日はどうでしょうか？」
2. A にプロジェクト
トの進捗状況を聞かれ、「良いよ。基本計画は何とか終わらせたよ」と応答。b. と迷うが「計画通り進んでいる」だと、続く A の「スケジュールよりちょっと早いよね!？」と矛盾する。
3. 間違い電話だと指摘され、「本当? ごめんなさい」続く A の「いいですよ。では」にも対応。
4. 空欄のセリフは「それではチェックするのを、省きましようか?」続く B のセリフにも対応。comply with は「…に従う」
5. 空欄のセリフは「大変でしょうが、私は彼と交渉してみます」続く B のセリフにも対応。willing は後に不定詞を伴い、「～するのをいとわない」

II

1. b. 2. d. 3. c. 4. d. 5. a.

1. suggestion 「提案」
2. secondhand 「中古の」
3. facilitate は他動詞で「O を容易にする、促進する」選択肢の中だと accelerate 「O を加速する、拍車をかける」が最も近い。
4. thoroughly 「完全に、まったく」
5. sustained 「持続した、維持された」選択肢の中だと continued 「継続する」が最も近い。

III

1. ① b. ② e. 2. ③ b. ④ d. 3. ⑤ e. ⑥ b. 4. ⑦ c. ⑧ e. 5. ⑨ b. ⑩ d.
6. ⑪ b. ⑫ c. 7. ⑬ c. ⑭ a. 8. ⑮ d. ⑯ c. 9. ⑰ e. ⑱ d. 10. ⑲ b. ⑳ c.

1. The material began to soften up, having absorbed hot water. having 以下、分詞構文。【having+過去分詞】で時制の「ズレ」を表している。
2. The judge had made us wait outside before the result of the final screening was announced. 使役動詞 make の使い方がポイント。【make+O+動詞の原形】で「O に～させる」
3. What have you been doing during this winter holiday? 現在完了進行形【having been～ing】
4. Isn't this rule the very book of which you spoke last week? 2文に分けると①Isn't this rule the very book?と②You spoke of it last week. spoke of～「～について話す」
5. I'm really sorry to have kept you waiting for such a long time. 【to have+過去分詞】で不定詞の時制の「ズレ」を表した形。【keep+O+～ing】「O に～させたままにする」
6. It is brave of you to take part in such a tough marathon race. it が形式主語で不定詞以下が真の主語。不定詞の前の you が不定詞の意味上の主語。brave が you の性質を表す形容詞。前置詞 of を用いる。
7. All I have to do now is to finish the homework before the deadline. all と I の間に関係代名詞 that が省略されている。「私が今やらなければならないすべてのことは～を終わらせることである」つまり「私は今、～を終わらせさえすれば良い」

8. They looked as though they had seen a ghost. as if[though]は後に仮定法の文を伴い「まるで～である(あった)かのように」本問は仮定法過去完了の文。「まるで幽霊でも見たかのように」
9. I will have the machine repaired, because I can't repair it myself. 第5文型の have の文。補語に過去分詞が来るとき、O と C の間に【受身の主語-述語関係】が見出せる。
10. At that moment the policeman saw him coming out from the house. 第5文型の文。補語に現在分詞が来るとき、「O が C している」という【瞬間】の意味を表す。

IV

- (1) s. (2) q. (3) t. (4) k. (5) c. (6) i. (7) b. (8) j. (9) d. (10) m.

- (1) similar 形容詞「似ている」図からも SCIENTISTS は、すべての項目について同様に同意していることが分かる。
- (2) RESPONSE が *Not too concerned or not at all concerned* ということは、safe 「安全である」ということ。
- (3) 空欄(3)以下の Democrats(76percent), Republicans(65percent), independents(65percent) という、各語と数値に合う項目を、図中に探し求める。
- (4) 空欄(4)を含む文中、Democrats が most likely of the political group でとなっている項目を探す。
- (5) 空欄(5)の前の 20 points less than…に注目。「…より 20 ポイント少ない」
- (6) 空欄(6)を含む文から、「ほぼ例外なく The AAAS members が信じている」項目を、図中に探し求める。
- (7) Republicans の 47% という値と、(6)の The AAAS members の 98% の差が答え。
- (8) the public と AAAS scientists との gap が最も大きい項目を、図中に探し求める。
- (9) agree 「意見が一致する」
- (10) この場合の last は自動詞「続く、存続する」という意味。

1. d. 2. a. 3. b. 4. b. 5. c. 6. b. 7. a. 8. d. 9. b. 10. d.

1. d. は「多文化世界における説得の技術」 a. と迷うかもしれないが、アメリカ人とドイツ人に限ってしまっている点が誤り。
2. 第1段落の最後から2番目と最終文から判断する。far from～は「決して～ではない」～の内容を強く否定している。
3. 第2段落の内容から判断する。「彼女は以前アメリカに住んでいて、その後ドイツの会社で働いた」
4. 第6段落第2文の内容から判断する。「彼女はどのようにやって考案したのかには言及することなく、自らの提言を始める」
5. 第6段落第3文の内容から判断する。b. と間違えやすいが、methodology was not sound 「方法論が適切ではなかった」とは言い切れない。
6. 第11段落最終文の内容から判断する。あれこれと説明するより前に、核心にまず言及するアメリカ文化の特徴を押さえる。
7. 第13段落第3文 Hupert explains の下に続く文章・最後から4番目の文 We may feel insulted. に注目。最後から3番目の Do you think…? の文の直訳は「彼ら(=アメリカ・イギリス人)は、私たち(ドイツ人)が単に何でも飲み込んでしまうほど愚かだと思っているのか？」 a. 「アメリカ・イギリス人は、ドイツ人が何でも受け入れてしまうほど愚かであるかのように考えている」という内容に通じる。
8. William は「ドイツの会社で」アメリカのやり方を、Hupert は「アメリカに住んでいた時に」ドイツのやり方を、それぞれ行い失敗している。
9. 第14段落の内容から判断する。アメリカ型のプレゼンテーションの方法として、適切なものを選ぶ。
10. 紛らわしいが、b. の後半が不適切。depends on 以下「聞き手がいかに話し手の背景を理解するか」の、【「聞き手」と「話し手」】が逆なら正しい。「話し手がいかに聞き手の背景を理解するか」に、「プレゼンテーションの成功はかかっている」のだ。

総評

I

形式・問題数は昨年度までと全く変わらない。2. 4. あたりが多少判断しづらいかもしれない。

II

こちらも形式・問題数は変わらないが、昨年度までは「知っていればできる」的な出題だったが、今年度は知識をそのまま当てはめるのではなく、試験の場で考えさせる傾向が強くなったように思われる。

III

例年の大問IIIの流れには沿っているが、問題の出し方には変化が。1語不要の整序英作文となった。不要の1語と対応する必要な1語を見出し、【どちらを用いるのか/用いないのか】という視点で考えられるかが肝要。

IV

こちらは例年の大問IVの形式・問題数と同じ。英文だけでなく、図を活用して選択肢を埋めていくことが大切。

V

例年の大問Vと形式・問題数は同じ。ただし語数は多く、難しいものが目立ったように思われる。

～全体を通して～

昨年度までと概ね同じ形式・問題数でしたが、大問IIIは比較的大きく変化しました。全体として難化しています。より「読解力を求める」要素が強くなっているようです。基礎・基本が大切なのは言うまでもありませんが、特に長文読解に関しては、今まで以上にレベルが高いものを教材として、読解力向上に強める必要がありそうです。